

各高等学校長 殿  
 県立輝翔館中等教育学校長 殿  
 県立特別支援学校長 殿  
 各英語科主任 殿

福岡県高等学校英語教育研究部会  
 会長 土生 賢行  
 (福岡県立久留米筑水高等学校長)

### 令和 5 年度福岡県高等学校英語教育研究部会「研究大会」について（ご案内）

晩秋の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から当部会に対し、格別のご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、令和 5 年度福岡県高等学校英語教育研究部会「研究大会」を下記のとおり開催いたします。新学習指導要領に関する実践と情報共有をテーマに指導力の向上を図りたいと考えておりますので、貴校英語科教員の積極的な参加をよろしくお願いいたします。

#### 記

- 1 日 時 令和 6 年 1 月 1 7 日（水） 1 3 時 3 0 分開会（受付 1 3 時～）  
 1 5 時 5 5 分閉会予定
- 2 場 所 九州産業大学 1 号館 N401  
 (〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1 TEL 092-673-5050)  
 ※オンライン会議システム「ZOOM」を利用してオンラインでの参加も可能です。
- 3 主 催 福岡県高等学校英語教育研究部会
- 4 大会テーマ 「令和時代の英語教育、一步前に進めよう！」
- 5 日 程 開会行事 1 3 : 3 0 ~ 1 3 : 4 5  
 全体会 1 3 : 4 5 ~ 1 4 : 4 5 (質疑応答を含む)  
 分科会 1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 5 5 (意見交換・質疑応答を含む)
- 6 内 容 実践発表および参加型協議

	所属校	講師・発表者	主な内容
全体会	久留米工業高等専門学校	白井 龍馬 先生	「英語で教える」CLILとは？～先行研究と実践経験から見えてくるメリットと課題～
分科会 1	久留米工業高等専門学校	白井 龍馬 先生	ワークショップ：教科書を「CLIL化」してみよう
分科会 2	久留米大学附設中学高等学校	藤木 克哉 先生	「意味順で育った生徒の 6 年間」 "6 years of 'IMIJYUN' students — A Retrospective and Perspective View"
分科会 3	福岡県立ひびき高等学校	原島 丈児 先生	学校の当たり前を変える自由進度学習 ～ICTは使うことが目的ではない～
分科会 4	九州国際大学付属高等学校	桑野 健太郎 先生	令和の日本に求められる英語力の見つけ方と観点別評価で輝く言語活動 ※第71回九州地区英語教育研究大会（大分大会）の分科会における発表内容と同内容です。

(全体会) 実践発表を講義形式で行います。発表の最後に、質疑応答の時間を設定します。

(分科会) 1 名の発表者（講師）とファシリテーターが協議を進めます。

途中、参加者との双方向の意見交換や参加者からの意見集約、質疑応答などを行うことがあります。

7 お 願 い 会場にお越しの際は、公共の交通機関をご利用下さい。

## 8 全体会・分科会の概要

	講師・発表者	概要
全体会	久留米工業高等専門学校 白井 龍馬 先生	<b>テーマ「英語で教える」CLILとは？</b> <b>～先行研究と実践経験から見てくるメリットと課題～</b> CLILとは、Content and Language Integrated Learningの略で、「内容言語統合型学習」と訳されます。平たく言うと、他教科の内容や社会性のあるトピックについて、英語で対話的に学ぶことを促す学習上のフレームワークのことです。「英語を教えるだけでも難しいのに、さらに『英語で教える』なんて、より難しいのではないか」と考えられることが多くあります。しかし、これは「内容指導」と「言語指導」を足し算的に捉えた考え方であり、CLILではむしろ「内容」と「英語」が掛け算的な関係にあると考えます。このような授業の効果や実践例について、先行研究をまとめつつ、実践経験を踏まえてメリットと課題を紹介したいと思います。
分科会 1	久留米工業高等専門学校 白井 龍馬 先生	<b>ワークショップ：教科書を「CLIL化」してみよう</b> 全体会で紹介したCLILを実践するために、普段使っている教科書の内容を踏まえたCLILの授業案を考えるワークショップを行います。参加者の皆様は、普段使っている「英語コミュニケーション」の教材、あるいは受験対策の長文問題集をお持ちください。お持ちでない場合は、こちらで用意した長文をもとに、CLILの授業案を考えるワークショップにご参加いただけます。
分科会 2	久留米大学附設中学高等学校 藤木 克哉 先生	<b>「意味順で育った生徒の6年間」"6 years of 'IMIJYUN' students</b> <b>— A Retrospective and Perspective View"</b> 『明日の授業に活かす「意味順」英語指導 理論的背景と授業実践』（田地野彰 編・ひつじ書房）で中1指導の実践例としてご紹介した生徒たちも高3になり、いよいよ大学入試本番を迎えます。彼ら彼女らは私が初期指導から意味順を導入した初めての生徒たちです。本発表では、これまで6年間の授業の様子と生徒たちの反応・ライティング作品をお示ししながら、直近の受験指導についても共有させてもらえればと考えています。
分科会 3	福岡県立ひびき高等学校 原島 丈児 先生	<b>学校の当たり前を変える自由進度学習 ～ICTは使うことが目的ではない～</b> 定時制高校には小中学校時代に苦しい思いを経験した生徒が多く在籍しています。不登校児童生徒数が過去最多になった今こそ、学びの転換期として「生徒が主役の授業」が必要だと考えます。教えない授業、個別最適化、社会とつながる学びなど、定時制高校ならではの事例を共有します。「学校の当たり前」を見直すきっかけになるように、会場の方々も参加型の講演にしていきたいと思えます。
分科会 4	九州国際大学付属高等学校 桑野 健太郎 先生	<b>令和の日本に求められる英語力の見つけ方と観点別評価で輝く言語活動</b> (本分科会は第71回九州地区英語教育研究大会(大分大会)と同内容となります。) 英語力という言葉は恣意的です。共通の概念が存在すると思込んでいる場合が実は多くあります。本分科会では、令和の日本に求められる英語力の見つけ方を提案し、観点別評価で活きる言語活動を紹介します。

## 9 参加申込方法

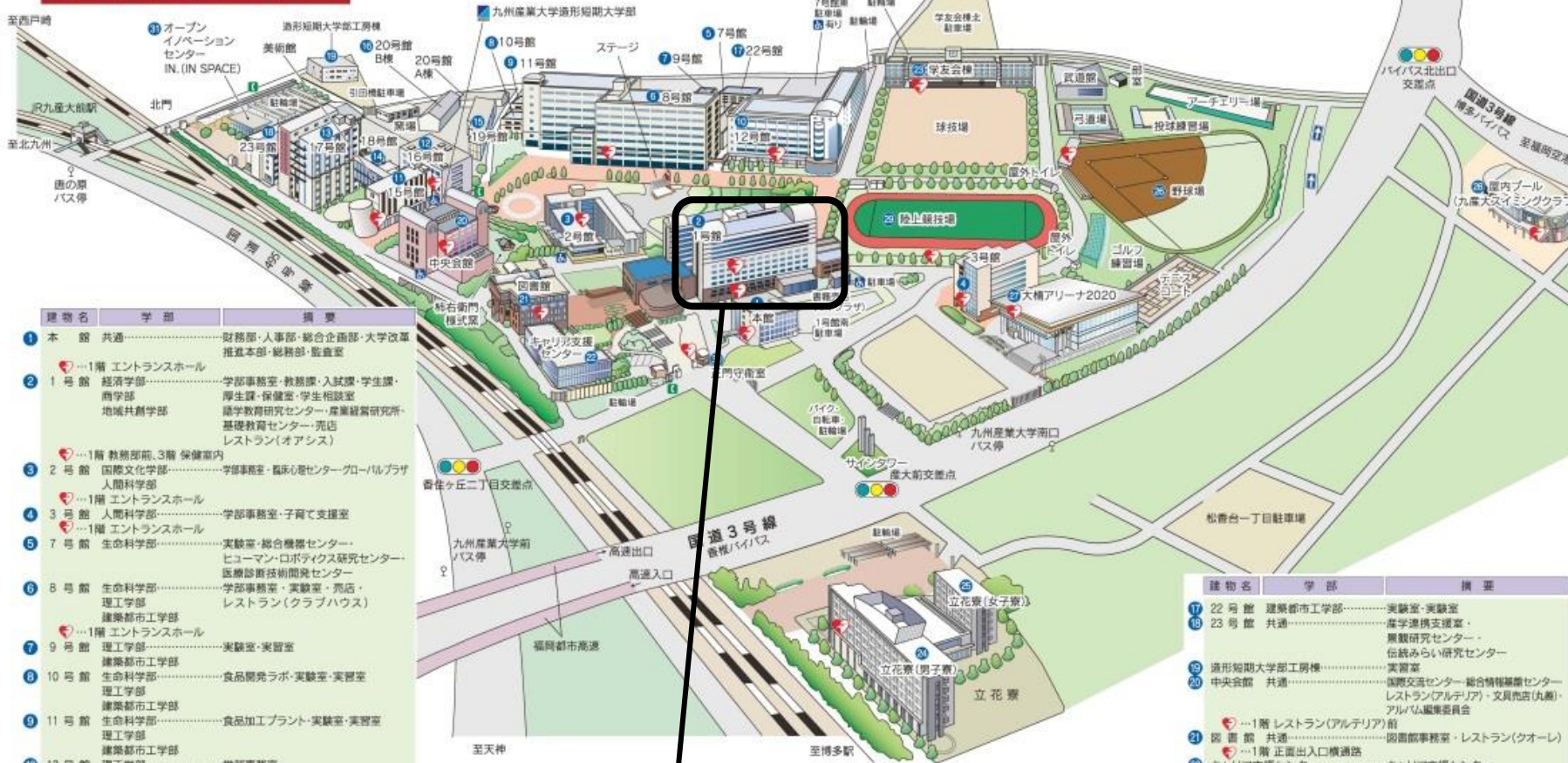
以下のQRコードもしくは、高英研HP( <https://www.fkuenglish-edu.com/> )に掲載しているgoogle form で12月22日(金)までにご回答ください。



参加申し込み用フォーム

**【問合せ先】** 伝習館高等学校内  
福岡県高等学校英語教育研究部会事務局  
事務局長 矢ヶ部 大輔  
TEL 0944-73-3116 FAX 0944-73-6496  
MAIL yakabe-d@fku.ed.jp

# 学内案内図



建物名	学部	概要
1 本館	共通	財務部・人事部・総合企画部・大学改革推進本部・総務部・監査室
2 1号館	経済学部	学部事務室・教務課・入試課・学生課・商学部 地域共創学部
3 2号館	国際文化学部	学部事務室・臨床心臓センターグローバルプラザ 人間科学部
4 3号館	人間科学部	学部事務室・子育て支援室
5 7号館	生命科学部	実験室・総合機器センター・ヒューマン・ロボティクス研究センター・医療診断技術開発センター
6 8号館	生命科学部	学部事務室・実験室・売店・レストラン(クラブハウス)
7 9号館	理工学部	実験室・実習室
8 10号館	生命科学部	食品開発ラボ・実験室・実習室
9 11号館	生命科学部	食品加工プラント・実験室・実習室
10 12号館	理工学部	学部事務室 売店(PCサポートセンター)
11 15号館	芸術学部・造形短期大学部	学部事務室・美術館・芸術学部アートギャラリー・売店(カフェ・テラスホール)・実習室
12 16号館	芸術学部・造形短期大学部	芸術表現学科・学部事務室
13 17号館	芸術学部	写真・映像メディア学科・ビジュアルデザイン学科・ソーシャルデザイン学科
14 18号館	芸術学部	芸術表現学科・生活環境デザイン学科共同工房センター
15 19号館	芸術学部	芸術表現学科・生活環境デザイン学科実習室・共同工房センター
16 20号館	A棟・B棟 芸術学部	芸術表現学科実習室・共同工房センター

建物名	学部	概要
17 22号館	建築都市工学部	実験室・実験室
18 23号館	共通	産学連携支援室・農産物研究センター・伝統みらい研究センター
19 造形短期大学部工務棟		実習室
20 中央会館	共通	国際交流センター・総合情報センター・レストラン(アルテリア)・文具売店(丸美)・アルバム編集委員会
21 図書館	共通	図書館事務室・レストラン(クオーレ)
22 キャリア支援センター		キャリア支援センター
23 学生会棟		学生会サークル部室
24 立花寮(男子寮)		中央棟出入口
25 立花寮(女子寮)		2階事務室内
26 立花寮(女子寮)		
27 大橋アリーナ2020		バスケコート
28 立花寮(男子寮)		2階事務室内
29 立花寮(女子寮)		
30 立花寮(女子寮)		
31 オープンイノベーションセンター IN. (IN SPACE)		

会場: 1号館4F N401教室  
 ※公共の交通機関で来場されますようお願いいたします。